

備前市事務事業評価表

事務事業名	幼稚園振興事業		コード	03-01-01-02
			担当課・係	教育総務課庶務係
			担当者	草加成章
事業実施期間	平成18年度		電話	0869-64-1802
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	地域文化と人が輝くまちづくり		
	中項目(基本施策)	未来を支える人材を育むまちづくり		
	小項目(施策)	幼稚園		

事業について	
目的 (何のために)	幼稚園の教材備品等備品・図書の整備を行い、幼児教育の充実を図るとともに、遠距離通学者などの通園費の補助を行い、就園奨励を図る。
対象 (誰・何を対象に)	市内各小学校区の満4歳から小学校就学の始期に達するまでの幼児
内容	幼児教育に必要な機械器具や教材として使用する備品の購入など教材等備品整備事業のほか、図書の購入を行う図書整備事業、通園費補助などの就園奨励事業を行います。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
就園児数	511 人	490 人	
図書整備事業費	208 千円	158 千円	
教材備品整備事業費	2,154 千円	1,330 千円	
通園費補助金	2,702 千円	1,874 千円	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源				
	直接事業費	5,064	国庫補助金等	141	直接事業費	3,361	国庫補助金等	136			
	人件費	4,195	受益者負担		人件費	3,730	受益者負担				
	市債			市債							
合計	9,259	一般財源等	9,118	合計	7,091	一般財源等	6,955	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.50 人	0.45 人	
結果指標名	図書費・教材備品費執行額	図書費・教材備品費執行額	
結果指標量	511	490	
単位	人	人	
対前年比	-	95.89%	0.00%
活動にかかるコスト	2,362,383 円	1,487,305 円	
単位当たりコスト	4,623 円		
結果指標名	通園費補助金執行額	通園費補助金執行額	
結果指標量	三石3人、日生75人	三石1人、日生52人	
単位	人	人	
対前年比	-	67.95%	#VALUE!
活動にかかるコスト	2,702,342 円	1,873,723 円	
単位当たりコスト	34,645 円	35,353 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	幼児教育の充実		
成果指標名	幼稚園園児1人当たりの図書費・教材備品費	式又は説明	図書整備事業費・教材備品事業費の中で、園児1人当たりの執行額を指標とします。各年度執行額・幼稚園児数
	17年度	18年度	
成果指標量	4,623		
対前年比	-	0.00%	
到達目標値	前年度並み	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等： 学校教育法第1条、2条、77条ほか)	妥当性評価<A~E> C
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	人間形成の基礎を培う幼児期において、読書週間や適切な教育教材による様々な活動を通じて人間性豊かでおもいよりの心を育む。また、遠距離通園園児の保護者に対し、通園費補助を行う。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	厳しい財政状況の中、図書費、教材備品整備事業の充実には努めなければならないが、効率性も考慮し、廃棄図書や購入図書の適切な選択や最適な教材の整備が必要。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明	限られた予算において、最適な教材備品の提供、図書の充実には努めている。
----------	---	---	----	-------------------------------------

目標値	結果指標量	図書・教材備品費	結果指標量	通園費補助金
	成果指標量	前年度並み		

総合評価	幼児教育に必要な教材備品の整備や心の豊かさを育む読書週間を身につける図書整備は、必要不可欠な事業であるが、予算執行の効率性のほか、最適な図書・教材の整備を行い有効性の向上にも考慮する必要がある。	評価区分<A~E> C
------	---	-------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	---	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	図書整備や教材備品整備の効果測定の方法を検討する。	20年度以降	図書整備や教材備品整備の効果的な充実が図れる。